



JR東海ユニオン組合員の皆さん！ 2.9ヶ月の要求で満足ですか？

JR東海ユニオンの今年度の年末手当の要求は2.9ヶ月です。

会社の2022年度第1四半期の純利益（連結決算）は470億円でした。年間の純利益は単純に4倍することはできないとしても、約1,200億円の黒字が見込まれる計算となります。これを考慮した場合、2.9ヶ月の要求はあまりにも低いとは思いませんか？会社は、コロナ禍を理由に4期連続で期末手当を大幅に削減したのです。社員の本音は、「減額分の回復もしてもらいたい」のです。しかも2.9ヶ月は、会社が言うところの安定的支給ベースです。要求を抑える理由はあるのでしょうか？

会社が期末手当の支給額を抑えなければならない理由は、リニア建設であることは言うまでもありません。今後は、財政投融资の財源が底をつき、資金調達が困難になれば、建設費の捻出ができなくなる可能性が出てきてもおかしくはありません。そのような状況になれば、期末手当は更なる大幅削減になる可能性は充分あり得ます。

JR東海ユニオン組合員の皆さん、本音を声に出していいこうではありませんか。「2.9ヶ月では少ない！」「リニアより社員の生活！」「減額分の回復をせよ！」と声をあげましょう！